茨木市立福井小学校　　平成29年（2017年）12月7日

福井だより

校長　吉田　明弘

2学期も残りわずか。

12月に入り、2学期も残すところ11日となりました。子ども達には、今学期中にやらねばならないことはやりきって、新しい年を迎えてほしいものです。

学校の周辺で、上水道や下水道、ガスなどの工事が行われています。場所によっては通学路が狭くなったり、凹凸ができていたり、工事車両が進入してきたりすることがあります。ご家庭でも「ガードマンの指示に従うこと」「工事区間を通る際は絶対に走らないこと」など注意喚起をお願いします。

１１月に行った人権に関する取り組み

福井小学校では、11月に様々な取り組みを行いました。その内容や作品の一部を紹介します。

◎人権標語

（１年）
みんなともだち　だれでもともだち
だいじょうぶ　みんなともだち　ずっといっしょ

（２年）
やさしいことばひとことで　あいての心を　あたためる
つかおうよ　人がうれしくなることば

（３年）
やらないよ　自分がされていやなこと
わたしから　たくさんつくろう　えがおのわ

（４年）
むすぼうよ　きずなのリボン　みんなにね
あの人が　いなくなったら　どうなるの

（５年）
信じてみ　みんながきっと支えになる
平和はね　みんなが求め　願うもの

（６年）
助けたい　今前にいる　僕の仲間を

◎人権ポスター　↑１年　↓５年

◎人権学習会　『みやばやしさちこさん（茨木市視覚障害者協会　会長）のお話』の感想

点字が目の見えない人に作られたのを初めて知った。服を触っただけでどの服か分かるのがすごいと思った。声を聞いただけで、場所が分かるのがすごいと思った。困っている人は誰でも助けてあげたい。（１年）

目がみえないみやばやしさんだけど、耳でどこにいるかとか今日はどんなふくをきようかとか、ぜんぶ耳で聞いたり、手でさわったりしてわかると知りました。手でさわって、シャンプーやリンスがわかってすごいなぁと思いました。もし目が見えない人や耳の聞こえない人がいたら、たすけてあげようと思いました。これからもっと目が見えない人の生活を知ってわたしもなにかやくにたちたいです。（２年）

話を聞いて生まれたときから目が見えないなんて大変だなと思いました。それに、耳で聞こえる音で場所がわかるなんてすごいなと思いました。それにみやばやしさんはホームから落ちそうになったこともあるなんて、自分が目の見えない人だったらすごくこわいなと思いました。ぼくも目の見えない人に会ったら横断歩道などで助けてあげようと思いました。（３年）

宮林さんは、目が不自由だけど、自分で積極的に話しかけると聞いてすごいなぁと思いました。わたしも、友達になりたいときは、宮林さんのように明るく自分から積極的に話しかけていこうと思いました。そして、目の不自由な人は大変なこともあるということが分かりました。わたしたちと同じところもあるし、ちがうところもあるし、一人ひとりちがうんだなぁと思いました。（４年）

たとえ、どんなところが不自由であっても、毎日の生活を少し工夫することで十分楽しい生活が送れるということを知った。どこかが不自由な人をぼくらが助けようとしても、ぎゃくに相手がいやな気持ちになるということも分かった。例えば、宮林さんが言っていた「つえの先を持って誘導されるのはこわい」ということなど。なので、もし目が不自由な人を見かけたら、これからはそういうことに気を付けながら、助けてあげたい。（４年）

宮林さんの話を聞いて、すごく感心しました。生まれつき、目が見えないなんてすごく悲しいことだと思います。でも、そんなに辛い状況なのに、すごく明るい人だと思いました。目が見えない人は、すごく特別で私たちが感じていないことまで感じられる能力を持っていると私は思います。宮林さんや他の目の見えない方も私たちも「命の重さは同じ」ということがわかりました。私がこれからできることは、体が不自由な人を助けることやその人の立場に立って一緒にいろんな事を考えていくことだと思いました。（５年）

私は障害をもっていません。だから、「障害を持った人は苦労しているんだろうな。かわいそうだな。」と思っていました。でも、宮林さんに会って「確かに苦労はしているけど、楽しそうだし元気そうだから『かわいそう』ではないな。」と思いました。楽しそうで元気そうに見えるのは、きっといろんな人に支えられて「目が見えない」ということを乗り越えたからだと思います。

私も目が全く見えないわけではないけど見えにくいです。目が悪くなるととても不便なのがわかります。宮林さんはこれからも大変なことがあるかもしれないけど、がんばってほしいです。私も障害のある人を見かけたら、私にできることをしたいです。（６年）

宮林さんが言ったことはとても正しいと思う。みんなと同じということは本当だ。母の母が病気で一人で家にいた時に、お世話してトイレに連れて行った。なぜか逆におこられたので、「こっちが世話をしてあげている方」とはっきり言ったら、「こっちだって自分でやるように努力してるけど、体が動かんのよぉ。」と言われたので、だまって手伝った。自分もおじいちゃん、おばあちゃんを見ると助けた方がいいかなと思うけど、行動はしていない。だから、これからは実行しようと思った。（６年）